

カリキュラム概要 Curriculum

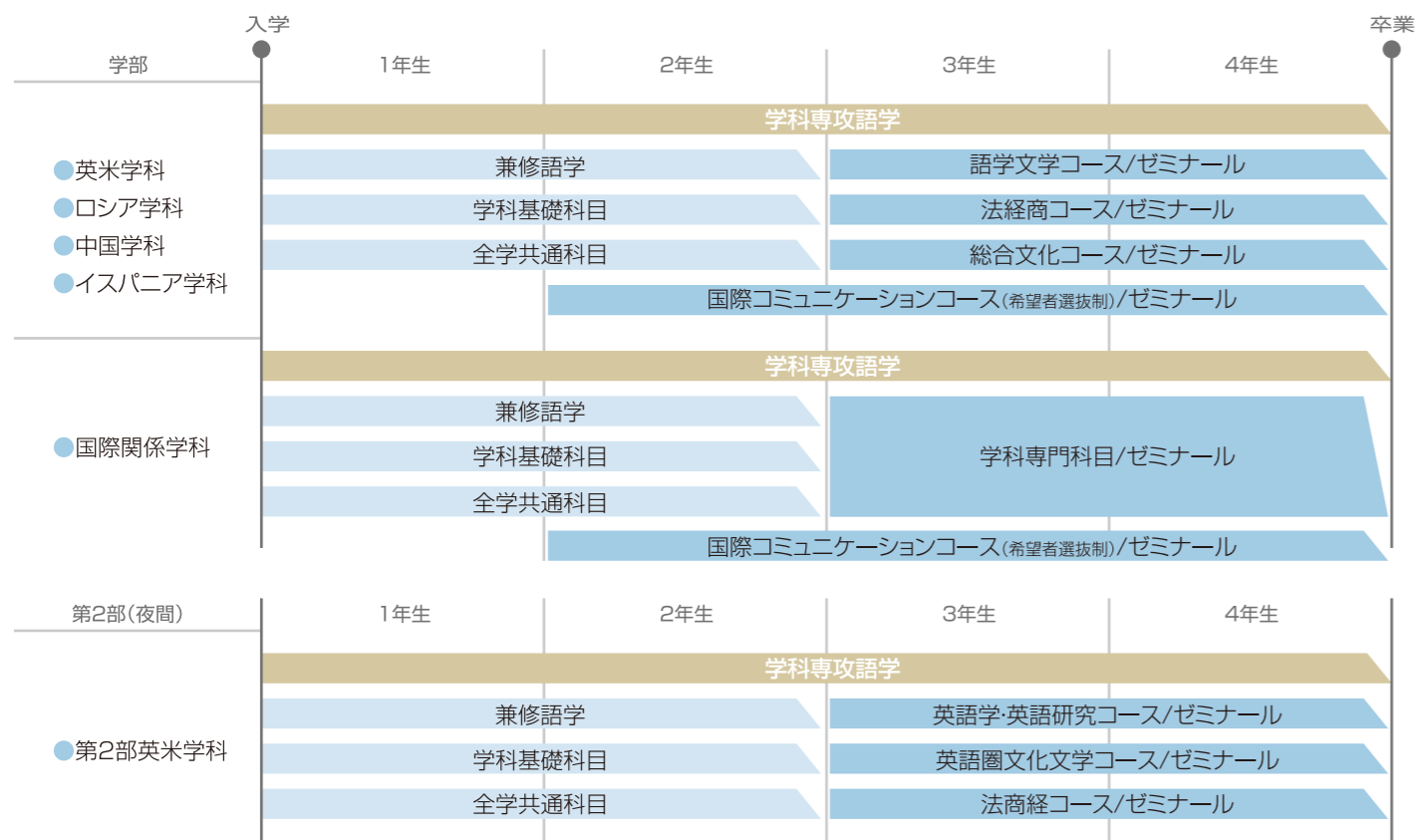
5学科と夜間の外国語学部第2部英米学科から構成

本学は、外国語学部のみ単科大学です。学部は、英米学科、ロシア学科、中国学科、イスパニア学科、国際関係学科の計5学科と夜間の外国語学部第2部英米学科(以下、第2部という)から構成されています。

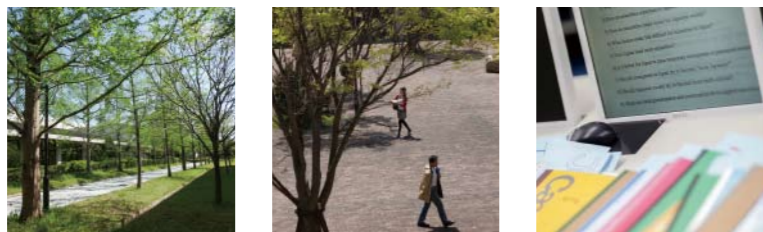
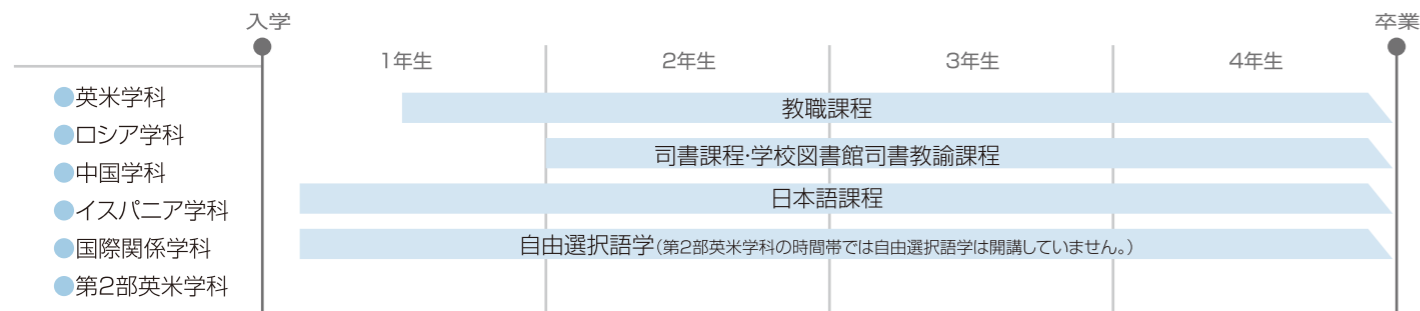
英米学科、ロシア学科、中国学科、イスパニア学科は、それぞれの言語とそれが使用されている地域に関する学習・研究を目的としています。これらの学科の最大の特徴は3年生から選択する「コース制」にあります。それは分野別に用意された「語学文学」「法経商」「総合文化」「国際コミュニケーション」の4コース、第2部では「英語学・英語研究」「英語圏文化文学」「法経商」の3コースの中から学生自らが自由に選択し、それぞれの言語圏での専門分野の実践的探求をするもので、本学独自のカリキュラムです。

国際関係学科は、学科専攻語学の英語を修得し、それに加えて政治、経済、文化の諸相における国家間、地域間の関係について研究するものです。

卒業までの履修の流れ



資格・課程科目および自由選択語学(正規授業以外に履修することが可能。ただし課程科目重複等により履修が難しい場合があります)



語学 Language Study

学科専攻語学

本学では専攻語学として、英米学科・第2部英米学科と国際関係学科では英語を、その他の学科では、それぞれ、ロシア語、中国語、イスパニア(スペイン)語を学びます。これらの「語学」は一般の大学の「外国語」科目とは異なり、1年生から4年生まで履修するもので、高度な言語運用能力とその言語についての専門的な知識の修得を目標としています。具体的には、I階程からIV階程まで設けられ、入門から、段階的に高度な専門領域に進むようになっています。



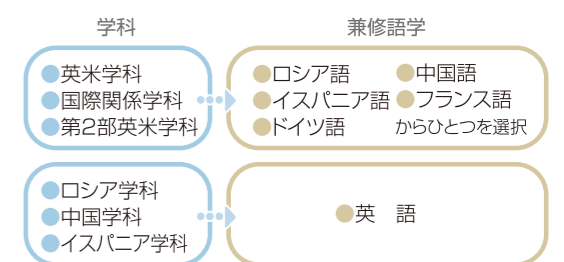
学科	I 階程	II 階程	III 階程	IV 階程
英米学科 第2部英米学科	講読、作文、発音、文法、会話の各クラスを通して、英文の基本的な構造を理解し、応用するための英語力を養成します。	I階程で学んだ基礎を発展させ、多種多様な英語表現を適切に理解するとともに、さまざまな場面において、英語で情報発信できる能力を養成します。	英語を専門として扱うために、本格的な英米文学作品や英語による研究書を理解する読解力と、英語を用いて専門的な議論を行う能力を養成します。	III階程に続き、専門としての英語運用能力を修得し、また高度で専門的な内容に基づき、英語での論文作成を可能にする能力を身につけます。
ロシア学科	ロシア語の発音と文法を学びます。	文の構造、ロシア語特有の文法現象について本格的に学ぶのと平行して、ロシア語の文章を読む練習をします。基本的な表現とともに聞き取りの力をつけます。	さまざまなジャンルのテキストに触れて、言葉のスタイルにどのような違いがあるのか、修辭法にどのような傾向があるのかを考えます。	III階程の内容からさらに難しくなり、会話の授業は対話だけではなく、人前で自分の意見を述べる練習も行います。
中国学科	中国語の基本的な発音と文法、簡単な会話の際に必要な語彙力を養成します。発音教育に重点を置きます。	応用力養成に向けた準備を整えます。講読では、中国で報道された新聞や中国語と日本語を話題にしたエッセイなどが取り上げられます。聞き取りや文法解析能力、語彙力など総合的な力が養われます。	さらに高難度の短編小説を対象とし、散文、映画、文芸評論などを対象とし、中国語で中国作品を味わい、日常会話以上のきめ細やかな表現力を養成します。	さらに高度な作品により、本格的な翻訳能力、豊かできめ細やかな表現力の修得を目指します。
イスパニア学科	基本的な文法事項および正確な発音を修得し、さらにテキストの読解や会話練習を通して言語運用の基礎を築きます。	より高度な文法事項を修得するとともに、会話および作文を通して正確に情報を発信する力を育成し、また言語の理解に不可欠な文化的背景を学びます。	さらなる言語運用能力の向上を目指すとともに、時事問題なども取り上げながら、より幅広い分野での言語の理解に努めます。	III階程に続き、歴史的、文化的な背景知識に基づいて情報を理解するとともに、自らの見解を効果的に発信するための能力を身につけていきます。
国際関係学科	日本語を介することなく英語を理解し、運用する能力を養成します。英作文では、概念を理論的に構成し、一定の長さのエッセイが書けるようになります。	メディアに取り上げられる国際社会の問題に目を向けながら英文を読み、議論します。多種多様な表現を身につけ、スピーチやエッセイなど自己表現に使えるようになります。英作文では、論文作成の技法・リサーチペーパーの作成方法を学びます。	各種の英語文献、メディアに取り上げられるニュースを通して、世界の問題をさまざまな角度から検討し、議論発表する能力の修得を目指します。	自身の意見を理路整然と構成し、それを効果的に伝える総合的な自己表現能力を養います。具体的に、ディスカッション・プレゼンテーション能力、交渉力、英語での論文作成能力の修得を目指します。

兼修語学

「外大生なら、外国語を2か国以上使いこなせなければならない」。本学では、このような社会のニーズに対応した高度な語学能力修得を目指しています。

それぞれ専攻する語学のほかにもう1つの外国語の履修を必須とし、実践的能力をしっかりと身につけられるようカリキュラムを組んでいます。

また、グローバル社会を先導する人材を養成するという本学の使命から、その他の外国語を学ぶためのカリキュラムとして「自由選択語学」を設けています。



自由選択語学

さらに多くの言語を学びたい人には、兼修語学以外に自由選択語学があり、右表の言語を学ぶことが可能です。

自由選択語学は、1年生から履修可能となっています。

※1: 受講希望者人数等の理由により、その年次には開講されない講座もあります。

※2: 第2部英米学科の時間帯に自由選択語学は開講していませんが、学部の授業では履修することが可能です。

イタリア語	ポルトガル語
ポーランド語	インドネシア語
朝鮮語	アラビア語
東欧諸語	東洋諸語